学校番号	１２０３

令和２年度　地理歴史科

教科	社会科	科目	日本史Ｂ	単位数	２、４単位	年次	２、３年次
使用教科書	新選日本史Ｂ（東京書籍）						
副教材等	特になし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史を学ぶとは、日本史を学ぶとは、いったい何を意味するのでしょうか。年号を覚えたり、人物名をひたすらに覚えていくことが日本史の勉強であると思っている人がいるかもしれません。たしかに、過去の出来事についての正確な知識は重要です。しかし、日本の過去の出来事を知るだけで終わってしまっては、日本史を学んだことになりません。ぞれぞれの時代の特徴をうみだした背景や、ある地域と他の地域のつながりなど、そのようなことを考えてみることから日本史の勉強は始まります。

２　学習の到達目標

①我が国の歴史の展開を，諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
②各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて，我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。
③歴史的思考力をつちかい，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	授業に積極的に参加しているか。また、世界史に関するＤＶＤやＴＶ番組を積極的に視聴したり，図書館・博物館等に足を運び意欲的に学ぼうとしているか。	日本史の授業で学習したことをもとに，現代に起こる様々な人類の課題を，多角的・多面的に考察できるか。	図版や年表等の様々な資料を活用して，それぞれの時代の政治・経済・社会・文化等の特徴について理解を深められるか。	日本史を理解するために，必要な基本的知識を身につけているか。また、日本の歴史の流れを世界の歴史や現代日本と関連づけながら理解しているか。
評価方法	授業中の発表、視聴覚教材の鑑賞態度の観察と、プリント提出、課題提出をもとに評価	授業態度の観察と、プリント提出をもとに評価	授業中の発表の観察と、プリント提出、課題提出をもとに評価	定期考査をもとに評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	第１章「古代国家の形成と貴族文化の誕生」	１「原始社会の生活と文化」 ２「農耕社会の形成と大陸文化の摂取」 ３「律令国家の形成と古代文化の展開」 ４「摂関政治と文化の和様化」	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	ａ：原始社会から発展して古代国家形成とアジア世界との関わりに興味をもつ b：古代国家の形成過程を他の国や他の時代と比較しながら考察する。 C：原始社会からの変化を学び、世界における日本のたち位置を把握する、 ｄ：古代国家の形成や歴史上の人物に関する事件に関する人物の知識を身につける。	・授業観察 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
	第２章武家社会の形成と生活文化のめばえ	１「中世社会の成立」 ２「武家社会の形成と東アジア」	○ ○	 ○	 ○	○ ○	ａ：古代社会から発展して中世社会の成立とアジア世界との関わりに興味をもつ b：中世社会の形成過程を他の国や他の時代と比較しながら考察する。 C：古代社会から中世社会の変化を学び、世界における日本のたち位置を把握する、 ｄ：中世社会の形成や歴史上の人物に関する事件に関する人物の知識を身につける。	・授業観察 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
後期	第３章「近世社会の形成と庶民文化の展開」	１「ヨーロッパ文化との接触と国内統一」 ２「幕藩体制の成立」 ３「近世社会の発達と町人文化」 ４「幕藩体制の動揺と庶民文化の発達」	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	ａ：中世社会から発展して近世社会形成とアジア世界との関わりに興味をもつ b：近世社会の形成過程を他の国や他の時代と比較しながら考察する。 C 中世社会からの近世社会への変化を学び、世界の日本のたち位置を把握する、 ｄ：近世社会の形成や歴史上の人物に関する事件に関する人物の知識を身につける。	・授業観察 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

	第４章「近代国家の形成と国民文化の発展」	１「開国から明治維新へ」 ２「立憲政治の形成と国民文化」 ３「日本の近代化と東アジア」 ４「デモクラシーと第一次世界大戦」 ５「激動する世界と日本」	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	ａ：近世社会から発展して近代国家形成とアジア世界との関わりに興味をもつ b：近代国家の形成過程を他の国や他の時代と比較しながら考察する。 C：近世社会から近代国家への変化を学び、世界の日本のたち位置を把握する、 ｄ：近代国家の形成や歴史上の人物に関する事件に関する人物の知識を身につける。	・授業観察 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
後期	第５章現在の世界と日本	１占領と国内改革 ２国際社会への復帰と高度経済成長 ３「石油ショックと低成長の時代」 ４新しい国際秩序と日本の課題	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	ａ：現代の日本とアジア世界との関わりに興味をもつ b：現代日本の形成過程を他の国や他の時代と比較しながら考察する。 C：現在日本への変化を学び、世界の日本のたち位置を把握する、 ｄ：現代日本の形成や歴史上の人物に関する事件に関する人物の知識を身につける。	・授業観察 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。